

平成 26 年度 泉図書館利用者懇談会 実施報告

1 日 時 平成 27 年 1 月 24 日（土） 13 時 30 分～15 時

2 場 所 仙台市泉図書館 2 階大研修室

3 出席者

利用者 : 2 名
ボランティア : 2 名（読み聞かせボランティア 1 名，書架整理ボランティア 1 名）
文庫 : 1 名
泉図書館 : 5 名（館長，主幹 2 名，主査 2 名）

4 内 容

- （1）開会
- （2）挨拶
- （3）自己紹介
- （4）泉図書館の概況説明
- （5）懇談
- （6）閉会

5 懇談内容

（1）開館時間について

- ・ 10 時開始の講座に 10 時開館だと慌しいので開館時間を早めて欲しい。

【回答と今後の対応】

- ・ 1 階入口は 9 時 30 分から開いており、講座の場合でも 10 時前に入れるので周知したい。

（2）閉館時間について

- ・ 土日も平日と同様に午後 7 時までにしてほしい。
- ・ 午後 9 時まで開館すれば普段来ない利用者層の来館が考えられる。

【回答と今後の対応】

- ・ 泉図書館は 30 代・40 代、特に女性の利用者が多く、小学生の子ども連れや家族で来る人も多いといった利用者層のリサーチなども参考にしながら検討していきたい。

（3）泉図書館の独自性について

- ・ 書架への職員コメントや本の平積み展示など、独自性のある展示をしてほしい。
- ・ 榴岡図書館、広瀬図書館で実施している「本の福袋」などを泉図書館でもできないか。
- ・ 他都市図書館で配置している「図書館マイスター」を泉図書館でも導入してほしい。

【回答と今後の対応】

- ・ 指定管理による榴岡図書館、広瀬図書館では新しい取組みのひとつとして本の福袋を実施しているが、泉図書館でも、図書館員のお薦め本のポップを掲示したり、作家の追悼コーナーを設置

するなどの工夫を図っている。

- ・図書館マイスターの配置にはハードルが高い面もあり、同様のサービスとして、司書によるレファレンスで調べ物や資料活用アドバイスをしているが、その他の図書館サービスについても更に周知していきたい。

(4) AV資料について

- ・内容が固く、古いものが多く、借りたいものがあまりないうえ、AV視聴スペースが少ない。

【回答と今後の対応】

- ・AVは高額で購入にも検討が必要である。また、視聴ブースについては、多様な利用の仕方を今後、模索していきたい。

(5) 喫茶コーナーについて

- ・熱心な業者が経営する居心地のよいカフェが図書館にあると快適でよい雰囲気になる。
- ・喫茶コーナーを、お弁当を食べるスペースにして、食べ物の自動販売機やコーヒーの自動販売機があるとよい。
- ・喫茶コーナーを市民のギャラリーコーナーなどに活用する方法もある。

【回答と今後の対応】

- ・夏休み期間中、2階のラウンジに設けた、親子でお弁当を食べられるコーナーは概ね好評である。
- ・喫茶コーナーは業者選定等から考慮すべき面が多くあり、活用を検討したい。

(6) 高校生の利用について

- ・図書館の本を読む目的以外の高校生の利用が多く、館内を利用者の年代別に区分できないか。

【回答と今後の対応】

- ・特に夏休みには学習利用の高校生が多く、長時間利用者には職員も声掛けをしている。
- ・喫茶コーナーの活用も含め今後の参考にしたい。

(7) 書架整理ボランティアについて

- ・司書を目指す中高生などにもボランティア体験をしてもらいたい。
- ・活動時間がまちまちなボランティアは他の方と顔を合わせることが少ないので、ボランティア同士が交流できる機会を設定してほしい。

【回答と今後の対応】

- ・学校単位で中高生の職場体験を受け付け、書架整理や返架などを経験してもらっている。
- ・ボランティア講座などを活用してボランティア同士が交流できる機会を確保していきたい。

(8) その他の意見

- ・子ども読書支援パックは貸出期限があり借りるのに不便である。
- ・団体貸出の本の中にブッカーがよじれて斜線になって装備されているものがあった。
- ・新刊書は予約してもなかなか借りることできない状況を解消してほしい。